

— 10. 支 部 通 信 欄 —

1 事務局からのお願い

(1) 退会・転出される方へ

機関誌・各種ご案内などの発送は、学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っております。日本気象学会から退会される方、または、北海道支部から他支部へ転出される方は、日本気象学会本部事務局へ連絡すると共に、北海道支部事務局へも連絡願います。（事務局への連絡は、支部機関誌「細氷」末頁の『所属（住所）変更届』をご利用下さい）

(2) 学会への勧誘について

気象に関心をお持ちの方が身近におられましたら、気象学会への入会をお勧めいただければ幸いです。入会申込書は気象学会HP、または、北海道支部事務局にあります。

会員の種別は通常・特別・団体・賛助・名誉会員があります。

会員の種別および年会費は下表のとおりです。また、A会員には気象学会機関誌「天気」のみ、B会員には「天気」と「気象集誌（英文論文）」が配布されます。また、北海道支部発行の機関誌「細氷（研究発表会の要旨や解説等）」が無料配布され、更に学会が発行している「気象研究ノート」、春・秋開催大会の「大会予稿集」なども会員価格で購入できます。

	通常・特別 A会員	通常・特別 B会員	通常・特別 学生A会員	通常・特別 学生B会員
年会費	6,900 円	12,600 円	4,200 円	8,100 円
支部機関誌「細氷」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象学会機関誌「天気」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象集誌（英文論文）	有料購入	無料配布	有料購入	無料配布
気象研究ノート	有料購入	有料購入	有料購入	有料購入
大会予稿集	有料購入	有料購入	有料購入	有料購入

2 編集後記

昨年から今年の冬は、強い寒気の影響を断続的に受けて、平年より気温の低い状態が続き、降雪量に対して積雪が多く、岩見沢と函館で観測開始以来1位の最深積雪を観測しました。

春先は、寒気の影響で気温が低く経過しましたが、5月に入ると低気圧や気圧の谷の影響により南から湿った空気が入り、雨の日が多くなりました。一方、今夏は平年並みで気温が経過していましたが、札幌では7月の終わりの26日から31日にかけて6日間連続の真夏日（日最高気温が30℃以上の日）となり、8月も下旬に6日真夏日があり、3年連続の高温となりました。今夏も暑く感じたのは、私だけでしょうか。秋にかけ気温が高く経過し、9月の中旬まで6日真夏日があり暑くなりましたが、10月に入ると夏日（日最高気温が25℃以上の日）となることもなく、さすが北海道すごしやすくなりました。今冬は、平穏に過ごしたいと思っています。

本号の編集にあたり、原稿執筆者を始め多くの方々にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。掲載内容についてご意見・要望、アイデア等をお寄せください。また、会員の情報交換の場としてもご利用いただきたく、寄稿をお待ちしています。

日本気象学会北海道支部事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目 札幌管区気象台技術部気候・調査課内
Tel 011-611-6147 Fax 011-611-3206 ホ-ム-ペ-ジ-アドレス <http://msj-hokkaido.jp>

所 属（住 所）変 更 届

旧所属・住所	郵便番号 〒 — -----
新所属・住所	郵便番号 〒 — -----
郵便物送り先	郵便番号 〒 — -----
フリガナ	-----
氏 名	TEL () —
会 員 番 号	No.

北海道支部送付先：〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目
札幌管区気象台技術部気候・調査課内

日本気象学会 北海道支部事務局
TEL: 011-611-6147
FAX: 011-611-3206
ホームページ <http://msj-hokkaido.jp>

本部送付先：〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内

日本気象学会 事務局
TEL: 03-3216-4403
FAX: 03-3216-4401
E-mail jmetrics@blue.ocn.ne.jp

研究発表会申込み方法及び原稿作成要領

1 研究発表会申込みの方法及び期限

(1) 申込み方法

申込み希望の方は、申込み期限までに発表題目・氏名（共同研究の場合、発表者の左肩に○印）・使用機器（PC・プロジェクター使用の有無）を北海道支部事務局まで提出すること（Mac PC 使用者は、各自持参のこと）。

(2) 申込み期限

第1回研究発表会（5月20日必着）、第2回研究発表会（10月20日必着）

2 研究発表会原稿作成要領及び提出先

(1) 原稿用紙

A4版（縦長・横書）に上下左右のマージンを1cmとった用紙を使用する。

この原稿用紙に書かれたものをそのまま写真でB5版の大きさに縮小して印刷する。従って執筆者が書いた文字・図表はそのままの姿で印刷され、原稿用紙一枚が1頁となる。この原稿用紙をB5版に縮小する割合は0.86なので、図表もこの比率で縮小されるので注意すること。

(2) 原稿の記入

原稿の体裁を統一する必要から、最初の行の中央に標題（本文より大きい文字を書き、長い場合2行にわたっても差し支えない）、1行あけて右側に氏名と（所属）を書く。連名者が多い場合は、次の行にわたっても良い。本文は章だてとし、本文が7行目あたりから始まるように記入する。原稿は1編をA4版用紙1～2枚に書き、なるべく余白を出さないように留意すること。

文字・図表などは黒色で出力すること。カラーの図表は、全て白黒に印刷され、明瞭に印刷されない恐れがあるので、できるだけ使用しないこと。

提出された原稿は編集印刷の際、用語、文字などの訂正が難しいので、原稿作成にあたっては十分に注意すること。読み難い原稿は書き直しをお願いすることもあります。

(3) 図 表

図表はその大きさや、図表中の文字・数字の大きさ等について縮小の比率を十分に考慮し、見苦しくならないように作成する。

- ・原稿用紙に直接図表を記入するか、貼り付ける。
- ・グラフ用紙を使用する場合は、罫線が濃いものを使用しない。
- ・図表には標題と説明文も付加する。

(4) 提出先

原稿は研究発表会当日会場へ持参し支部事務局に提出するか、7月末日までに支部事務局に提出する（電子媒体での提出可）。

原稿に使用した図や写真の返却を必要とする場合は、提出の際にその旨お知らせ下さい。

— 細 氷 No.58 —

平成 24 年 11 月 31 日 印刷
平成 24 年 11 月 31 日 発行

編 集 行 日本気象学会北海道支部

編集委員 輪 島 淳

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 18 丁目
札幌管区气象台気候・調査課内
Tel (011) 611-6147

印刷所 北海道印刷企画株式会社
〒064-0811 札幌市中央区南 11 条西 9 丁目
Tel (011) 562-0075